

技術報告③

鋼構造物の新技术（会員各社の技術動向）

「土地改良長期計画（令和3～7年度）」（2021（令和3）年3月，農林水産省）においては，農業農村をめぐる情勢変化を踏まえた政策課題として，

- （1）頻発化・激甚化する災害に対応した排水施設整備・ため池対策や流域治水の取組等による農業・農村の強靱化
- （2）ICTなどの新技术を活用した農業水利施設の戦略的保全管理と柔軟な水管理の推進

が可能となるような基盤整備の実現を求めています。

そこで，本誌ではこうした技術の普及促進の

観点から，JAGREE101号ではポンプ部門各社より技術報告をいただきましたが，本号では鉄構部門各社の技術開発動向をご紹介します。

寄稿いただいた会員企業は以下のとおりです。

- ①鉄管パイプラインの新技术について
JFE エンジニアリング（株）
- ②既設農業用ダム（鋼構造物）の改修取組事例
「岩洞ダム取水ゲート改修工事・風連ダムホロージェットバルブ（HJV）修繕工事」
西田鉄工（株）

以下，各社報文を紹介します。